

人工知能パートナーシステム (AIPS) を支えるデジタル回路の世界 | 青山社

私がはじめてBipolar Transistorの構造と動作原理を学んだのは母校Caltechで大学2年生の時、Feynman の物理の授業でした。



人工知能パートナーシステム(AIPS)を支える デジタル回路の世界

IEEE Life Fellow, Ph.D.

萩原 良昭 著

ISBN978-4-88359-339-2 B5判 上製 475頁

定価(本体9,000円 + 税)

未来の人間社会には人工知能パートナーシステム(AIPS)とも言える人間にやさしい支援システムが出現すると期待している。AIPS搭載の自動走行車や老人介護システム、人間型歩行ロボットやロボット・ハウスなどである。そこで本書では、そのAIPSを支える「デジタル回路の世界」と題し、ハードとソフトの両面で、人とコンピュータをつなぐデジタル技術について紹介している。図や絵をたくさん用意して、基礎からやさしく解説している。